

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 感染症専門医養成講座



令和6年度
令和7年度 事業報告書
事業計画書

本講座の4つのミッション

プログラムに沿った 感染症専門医の養成



鹿児島大学病院を中心にプログラムに沿った研修で臨床経験を積みます。[研修プログラム](#)

他大学とも連携し、経験の難しい症例などを症例検討会などで学習します。[研修会の予定](#)

医療機関等の感染管理・ 改善方法の修得／地域連携の推進



平時の感染管理を鹿児島大学病院などのICT活動を通じて学び、PDCAサイクルを活用した改善アプローチについて修得します。また、これらの活動を県内の医療機関・施設連携を通じて横展開し、地域での感染管理の連携強化を図ります。

医療機関・福祉施設等の 集団発生対応支援



医療機関・福祉施設等の集団発生時の疫学・感染管理・組織運営の支援を通じ、アウトブレイク対応を共有します。

感染管理・診療に 関する研究



学内外の講座と協力し、MRSA等の薬剤耐性菌や新型コロナウイルス等医療機関で問題となる病原体の感染管理や感染症治療に関する研究を行います。

感染症専門医の養成

地域連携による県内感染防御体制の強化

医療従事者及び県民向けの研修会・講座の開催

感染症に関する調査・研究

鹿児島大学 感染症専門医養成講座 概要

- 地域医療機関と密に連携した県内感染制御体制の確立 → 医療機関・施設等への感染症対策・実地支援の強化
- 感染症専門医の育成、メディカルスタッフへの教育
- 感染症に関する学術的調査・研究の実施 → 科学的なエビデンスに基づいた的確な感染症対策

県内研修施設との連携

鹿児島市立病院
鹿児島生協病院

大学院医歯学総合研究科

感染症専門医養成講座

- ・診療 及び 実地支援の強化
- ・高度医療人の育成
- ・学術的調査・研究

鹿児島大学

一体化

大学病院

感染制御部

- ・院内感染対策
- ・サーベランス
- ・アウトブレイク対応



地域医療に
大きく貢献



保健所・自治体



大規模な
医療機関



医師会

地域基幹
病院



中小規模の
医療機関



高齢者
施設

協力

技術協力
疫学分析

密に連携

連携

地域活動・支援
人材育成

国立感染症研究所
等

鹿児島県保健福祉部
県環境保健センター

鹿児島県医師会・
鹿児島県看護協会等

- ・サーベランス情報共有
- ・医療機関への診療・対策支援
- ・アウトブレイク等の実地支援
- ・メディカルスタッフ教育

令和6年度 事業報告

	感染症専門医の養成	地域連携による県内感染防御体制の強化	医療従事者及び県民向けの研修会・講座の開催	感染症に関する調査・研究
実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島大学病院における日本感染症学会認定感染症専門医養成プログラムの作成(2023年7月) 鹿児島大学病院医師に対する受講生募集の開始(2023年7月) 鹿児島大学病院研修登録医制度に基づく養成プログラムの作成・プログラムの開始(募集継続) 県内日本感染症学会認定研修施設(鹿児島市立病院・鹿児島生協病院)との連携による感染症専門医養成プログラムの検討・客員教員称号付与 本講座のホームページ構築(実績) 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島県内感染対策向上加算1算定施設参加の連携カンファレンスの実施(年2回) 新興感染症対策における加算1と同加算供(能登半島地震対応) 2・加算3・外来感染対策向上加算算定施設との連携におけるサーベイランスやラウンド等のフォーマットの共有 保健所・医師会との連携強化の支援 鹿児島県内感染対策向上加算1施設間相互チェックのマッチングと、チェックリスト集計による新興感染症対策・薬剤耐性菌(AMR)対策共通課題の改善プログラムの検討 鹿児島大学病院が事務局となる鹿児島感染制御ネットワーク(KICNet)学術講演会の開催、ホームページのリニューアル 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー開催 (KICNet学術講演会 2回) Webinarの開催 12回 医療従事者や行政職員へのタイムリーな情報提供 感染症専門家に対するアップデートな情報提供 学生教育 医学科学生向け感染症系講義 医学科・保健科学生向け 感染症医療人材養成事業 講義・実習 修士課程(災害医療学)講義 医学科4年生自主研究 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策に関する研究 新型コロナウイルス施設クラスターに関する後ろ向き調査による今後の新興感染症対策の在り方に関する研究(国立感染症研究所 実地疫学研究センターとの連携) 医療機関における薬剤耐性菌対策強化に関する研究 医療従事者・行政担当者の専門家育成のための調査

令和6年度 事業報告

	感染症専門医の養成	地域連携による 県内感染防御体制の強化	医療従事者及び 県民向けの研修会・講座の開催	感染症に関する調査・研究
実績	<p>★受講者数：10名（鹿児島大学所属5名・他医療機関所属5名） 感染症専門医取得を目的としたもの）</p> <p>参考 ・寄附講座と病院感染制御部在籍 感染症専門医未取得者3名 ・協力講座（血管代謝病態解析学・救急・集中治療医学）教官4名 ・感染症専門医取得が難しいが、基幹医療機関や地域で感染症に関わる受講希望医師2名</p>	<p>★医療機関とのカンファレンス 医療機関とのカンファレンス 基幹医療機関感染制御担当者のweb会議（月1回 計12回開催） 大学病院主催感染対策向上加算地域連携カンファ（2回）</p> <p>★連携施設訪問・カンファ参加 (6施設 20回)</p>	<p>★開講記念会の開催 (11/20) ★セミナー開催 (KICNet学術講演会 2回) ・Webinarの開催 12回 - 医療従事者や行政職員へのタイムリーな情報提供（能登半島地震対応） - 感染症専門家に対するアップデートな情報提供 ・他団体との共催研修等 8回</p> <p>★県民向け公開講座等 インフルエンザの感染対策 動画 県民向け公開講座 感染症を拡げないための「キホンの"キ"」（2025年2月19日開催）</p> <p>・学生教育 - 医学科学生向け感染症系講義 - 医学科・保健学科学生向け 感染症医療人材養成事業 講義・実習 - 修士課程（災害医療学）講義 - 医学科4年生自主研究</p>	<p>★感染症に関する教育、調査・研究 ●学会発表 国際学会 発表 4 国内学会 シンポジウム 9 一般演題 11 教育講演など 7</p> <p>●論文発表 欧文 9 (いずれも共著) 和文 1</p> <p>★活動に関する訪問・研修参加 三重大学 公衆衛生・産業医学・実地疫学分野 (11/5) 研究・教育面での連携検討</p> <p>川崎市健康安全研究所 (3/25) 地域での感染対策訓練に関する相談)</p>

学内外でのネットワークの構築

アップデートな情報提供
医療従事者間では双方向性を重視した情報共有を行い、改善につなげる

ミッション1: 感染症専門医の養成

- ・コンセプト：鹿児島県内で不足する感染症専門医の育成 **KPI: 令和8年度までに6名の感染症専門医の育成**
- ・提供価値：地域に感染症専門医を配置することで、基幹医療機関における感染症の診療の質向上と、地域のリソースに応じた感染症診療の連携・ネットワーク形成が可能となる
- ・ターゲット：地域の感染症診療に関わる医師

Strength (強み)	Weakness (弱み)	Opportunity (機会)	Threat (脅威)
1. 講座と基幹病院の連携・ネットワーク形成：鹿児島大学を中心とした関連病院のネットワークにより、地域のリソースに応じた感染症診療の連携とネットワーク形成を可能にできる。 →医療用SNSやwebカンファを活用した連携強化	1. 資金調達の依存度：寄付金と経費収入に大きく依存しているため、経済的な変動等に弱い。 2. 専門医育成の時間とコスト：感染症専門医の育成(基礎領域専門医取得 + 学会入会後 3 年の指定医療機関研修) には時間とコストがかかり、事業のスケールアップを遅らせる要因になる。 機構専門医制度では、内科専門医との連動研修が困難なこと、臓器別講座体制での内科専門医の感染症専門医育成にハードルが高い。 3. 地域における専門医の偏在：鹿児島県内でも地域によっては専門医の偏在が生じる可能性があり、一部地域でのサービス品質の低下を招く恐れがある。 4. 論文・学会発表活動が不十分	1. 内外のパンデミックへの備え：新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックのような状況において、感染症専門医の需要は高まります。この事業は、将来的なパンデミックへの備えとしての重要性が高まる。 2. 技術進化による診療の質向上： 遠隔医療やAIを活用した診断支援ツールの進化 により、診療の質がさらに向上する機会がある。 3. HIV診療等感染症専門医として必要な知識の獲得のための研修機会	1. 感染症の急速な変化：新たな感染症の出現や既存の感染症の変異により、専門医の知識や技術の迅速なアップデートの必要性が生じる可能性がある。 2. 他地域への専門医の流出：専門医の待遇やキャリアパスを充分に提供できなければ、他地域への流出が起きる可能性がある。
2. 地域医療の質向上：COVID-19により強化された地域の基幹病院と他医療機関や保健所等との連携が、基幹病院に感染症専門医を配置することで、感染症の診療の質が向上できる。これにより、患者の治療効果が高まり、新興感染症や薬剤耐性菌の拡大防止に寄与する。		4. 教育・研修プログラムのモデルケースとしての普及：この事業が成功すれば、他の地域や異なる専門領域にも展開可能なモデルケースとして機能する可能性がある。	

ミッション2:地域連携による県内感染防御体制の強化

- ・コンセプト：地域連携による鹿児島県内医療機関における医療関連感染症防御体制の強化
- ・提供価値：COVID-19のような新興感染症や薬剤耐性菌の集団発生を起こさせないことによる医療機能の維持、医療関連感染症の減少による診療の質向上
- ・ターゲット：地域の感染制御に関する医療従事者や保健所等職員

Strength (強み)	Weakness (弱み)	Opportunity (機会)	Threat (脅威)
1. 感染症防御体制の強化による医療サービスの質の向上：地域医療機関における医療関連感染症の拡大防止により、患者の安全と満足度を高め、医療サービスの質の向上に直結させる。	1. 人材育成と維持の難しさ ：高度な専門性を持つ医療従事者の育成と維持は、時間とコストがかかる。 大学が核となった体制整備が貴重なリソース。 2. 地域医療機関間の協力体制の構築の難しさ：地域医療機関間での連携と協力体制の構築は、異なる組織文化や利害関係の調整が必要であり、これが課題となる可能性がある。	1. 新興感染症や薬剤耐性菌への対応強化：COVID-19パンデミックをはじめとする新興感染症や薬剤耐性菌に対する対応力強化は、地域医療のレジリエンスを高める重要な機会を提供する。 →JIHSと感染症指定医療機関とのネットワークなど対応能力の強化へ	鹿児島では比較的検出率の低いバンコマイシン耐性腸球菌やカルバペネム耐性腸内細菌目細菌は他地域で増加しており、連携構築ができない療養型医療機関・介護施設でのサイレントパンデミックの発生や、医療機関への持ち込みリスクが存在する。
2. 地域連携による情報共有と資源の最適化：鹿児島大学病院が事務局となる鹿児島感染制御ネットワーク(KICNet)の人的連携や、鹿児島感染制御サーベイランスシステム等が既存リソースとして活用可能である。さらに地域の医療機関間での情報共有と連携を強化し、資源の最適化および対策の標準化を実現し、効率的な感染症対策の展開を可能とする。		2. 公衆衛生への意識向上による支援の増加：公衆衛生に対する社会的な関心の高まりは、事業への支援や資金調達の機会を増やす可能性がある。 3. テクノロジーの活用：デジタル技術の進展により、県内感染症専門家のネットワーク構築が充実することで、事業の価値を高めることができる。	

ミッション3:医療従事者及び県民向けの研修会・講座の開催

- ・コンセプト：医療従事者及び県民向けの感染症に関する研修会・講座の開催
- ・提供価値：問題となっている新興感染症や薬剤耐性菌などの感染症に関する問題の認知向上・リスク共有により、予防施策の円滑な実施につなげ、感染症患者数の減少や医療機関の機能維持につなげる
- ・ターゲット：一般市民・地域の医療・介護業務従事者や保健所等職員

Strength (強み)	Weakness (弱み)	Opportunity (機会)	Threat (脅威)
<p>1. 感染症対策の知識向上: COVID-19下で医療機関・福祉施設等での対策の重要性が啓発され、施設や職能団体等からの研修会の共催や講師依頼などが増加している。最新の感染症情報と予防策を医療・介護従事者に提供することで、地域全体の感染症対策の知識レベルが向上する。</p> <p>2. 多方面からのアプローチ: 医療従事者だけでなく、一般市民を対象とすることで、広範囲にわたる予防意識の醸成と感染症リスクの共有が可能となる。</p> <p>3. 地域医療機関の機能維持: ワクチン等を含む感染症の予防と早期発見により、医療機関の過負荷を防ぎ、医療サービスの質の維持に貢献できる。</p>	<p>1. 参加者の動機付け: 一般市民および医療従事者に研修会や講座への積極的な参加を促すための効果的な動機付けが必要。</p> <p>2. 情報の質と更新: 最新かつ正確な感染症情報の提供には、専門知識を持った講師の確保と情報の定期的な更新が必要。</p>	<p>1. デジタル技術の活用: オンライン研修やウェビナーを通じて、より多くの人々に容易にアクセス可能な教育機会を提供することが可能。特に離島の多い鹿児島では活用のメリットが大きい。</p> <p>2. 公衆衛生の意識向上: COVID-19パンデミックによる公衆衛生への関心の高まりを利用して、研修会・講座への参加意欲を高めることができる。</p> <p>3. パートナーシップの構築: 医療機関に加えて、行政・職能団体等とのパートナーシップを構築し、リソースと情報の共有を図ることが可能となる。</p>	<p>情報過多による関心の低下: 情報過多の時代において、特定のテーマに対する注意が散漫になり、また不正確な情報の流布により研修会や講座への関心が低下する可能性がある。</p>

ミッション4:感染症に関する調査・研究

- ・コンセプト：鹿児島県内における感染症に関する調査・研究
- ・提供価値：問題となっている薬剤耐性菌や医療感染感染症の発生率の把握、医療関連感染対策に関する課題抽出等の調査から、発生率低減につなげる改善策の立案やその有効性などの研究を行うことで、医療の質向上や医療機関の機能維持につなげる
- ・ターゲット顧客：地域の感染症診療に関わる医療従事者や調整を行う保健所職員

Strength (強み)	Weakness (弱み)	Opportunity (機会)	Threat (脅威)
<p>1. アカデミアとしての専門性の高い研究: 感染症に関する調査・研究を通じて、地域特有の薬剤耐性菌や医療関連感染症の問題に対する専門的知識と解決策を社会に提供する。また、アカデミアが感染症専門者に高度教育を提供することで、キャリアアップにつなげることも可能となる。</p> <p>2. 医療の質向上への貢献: 発生率の把握と改善策の立案を医療機関等に対し行うことで、医療機関の感染症管理の質を向上させ、医療サービス全体の改善に寄与できる。</p>	<p>1. 研究の実施・成果の実用化の難しさ: 研究の実施や成果を実際の医療現場での実用化に結びつけるには、追加の努力や資金が必要である。</p> <p>2. 人材確保の課題: 専門的な知識を持つ研究者や医療従事者を確保することは、特に地方では難しい。</p>	<p>1. 感染症対策の社会的関心の高まり: COVID-19パンデミックを受けて、感染症対策への社会的関心が高まっており、支援や協力の機会が増えている。</p> <p>2. 公私のパートナーシップ: 地方自治体や国の支援プログラムを活用することで、追加の資金調達や研究の促進が期待できる。</p> <p>3. 最新技術の活用: データ分析技術やAIの進化により、感染症の監視や研究の効率化、精度の向上が期待できる。</p>	<p>他機関との競争: 同様の研究を行う他の機関との競争により、資金調達や人材確保が難しくなる可能性がある。</p>

各ミッションの今後の課題

感染症専門医の養成	地域連携による 県内感染防御体制の強化	医療従事者及び 県民向けの研修会・講座の開催	感染症に関する調査・研究
<ul style="list-style-type: none">・地域（基幹医療機関・行政、周辺医療機関等）との強い連携・face to faceのコミュニケーションとITの活用による連携関係の強化・専門医（取得希望者）に対するインセンティブの提供・他大学の寄付講座とのネットワーク構築・情報共有	<ul style="list-style-type: none">・専門人材の確保と維持・医療・行政ワンチームでの地域医療機関間の効果的な連携体制の確立	<ul style="list-style-type: none">・参加者の興味と動機付け（市民向け）・参加を促すためのインセンティブの提供（医療・介護等従事者向け）・グローカルな専門家ネットワークの構築による情報の質と定期的な研修内容の更新	<ul style="list-style-type: none">・研究成果の実用化、現場に迅速に適用するためのシステムの確立・優秀な人材を引きつけるための環境整備

- ・事業の持続可能性を確保するための多角的な資金調達戦略

令和7年度事業計画

	感染症専門医の養成	地域連携による 県内感染防御体制の強化	医療従事者及び 県民向けの研修会・講座の開催	感染症に関する調査・ 研究	KPI
	院内外でのネットワークの構築		Up To Dateな情報提供 医療従事者間では双方向性を重視した情報共有を行い、改善につなげる		
2024 ～ 2025	<ul style="list-style-type: none"> ★専門医資格取得支援 <ul style="list-style-type: none"> ・専門医プログラム研修の実施 ・研究発表支援 ・研修時の経験症例サマリー作成サポート ★在籍医療機関・診療科における活動・ポジションの確立のサポート <ul style="list-style-type: none"> ・医療用情報共有アプリの活用 ・医療機関訪問による実地支援 ★HIV診療や指定医療機関での対応が求められる感染症に関する専門医既取得者・取得予定者に対するon/off the job training ★感染症専門医養成体制の充実を目的としたシンポジウムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ★医療機関とのカンファレンス 基幹医療機関とのweb会議（月1回程度） 感染対策向上加算地域連携カンファ（年2回） 医療機関連携を目的とするカンファレンスの企画・開催支援 ★連携施設訪問・院内カンファ参加 ★HIV診療体制に関する連携関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> ★市民公開講座等の開催・流行感染症に対する啓発資料等の作成・配信 ★医療・介護系団体等と連携した医療・介護施設職員向け研修・マニュアルの整備 ★セミナー等 鹿児島感染制御ネットワーク講演会・パネルディスカッション 講座主催webinar 基幹医療機関・職能団体等と研修会共催 ★新型インフルエンザ等感染症 行動計画に基づく訓練の開催支援 ★学生講義 医学科学生講義に関する講義企画・運営 歯学科・保健学科学生への講義 ★パイロット版感染制御高次専門家育成プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ★受講生のキャリア形成に活用し る、感染症に関する教育、調査・研究・学会活動等 外部機関との実地疫学研究連携強化 ★離島へき地で応用可能な、薬剤耐性菌等分子疫学的解析の検討（一部を（令和6-7年度 経営戦略経費（学長裁量経費） で実施） 	県内医療機関の受講生を中心としたネットワーク確立による直接的・間接的に専門医が関与できる診療医療機関を確保（目標10医療機関）
2026	<ul style="list-style-type: none"> ・専門医の養成 ・専門医在籍医療機関・在籍本学講座との連携ネットワーク構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹医療機関とのネットワーク強化 ・基幹医療機関と保健所・地域医療機関等との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会・市民公開講座・webinarの開催 ・感染制御マネジメント能力を有するプロフェッショナルの育成プログラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> *プロセスインジケーター 連携・訪問医療機関数：県内医療圏を網羅する10医療機関 *プロセスインジケーター 講座主催webinar: 10回 ・継続可能な研究体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症専門医6名の養成 各医療圏を網羅する、専門医関与の（直接的・間接的）診療体制確立



寄附講座終了後の感染症に関する医療従事者教育、地域連携、研修、調査・研究体制

- 医療連携
 - 鹿児島大学（病院感染制御部）を中心としたネットワークの維持・拡大
 - 行政機関との連携の維持・強化
- 卒後教育
 - 県内医療機関での継続的・発展的な専門医・専門家養成（臨床・研究発表含む）
- 卒前教育
 - 医学部学生などの卒前教育
- 社会的活動
 - 大学・地域（医療機関・保健所等）での研修会の開催、開催支援
 - 教育・調査・研究の継続による大学からのUp To Dateな医療機関等への情報提供の継続
 - 感染症対策に関するシンクタンク機能の拡充